

J R 東海労申第 8 号
2 0 2 5 年 9 月 2 9 日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 丹羽 俊介 殿

J R 東海労働組合
中央執行委員長 淵上 利和

2 0 2 5 年度年末手当に関する申し入れ

会社は 2 0 2 5 年期末決算について、前年比で大幅な増収増益の決算となった。

また、2 0 2 6 年 3 月期第 1 四半期決算において、東京口断面輸送量は前年比 1 1 0 % であり、単体においての営業収益は対前年同期比 1 1 0 . 7 % 増の 4 , 0 1 5 億円を計上した。明らかにコロナ禍が回復傾向にあり、インバウンドの好調や大阪万博輸送も重なり、経営状況が大幅に改善している。

この大幅な収益増加は、組合員、社員が酷暑の中、額に汗して日々安全安定輸送を担ってきたからこそ、実現できていることである。2 0 2 5 年度年末手当を取り巻く状況は、社員にとって明るい材料のひとつであり、大きな期待を寄せている。

その一方で、電気・ガス・米価格高騰を始めたとした食料品等について軒並み値上がりをし、家計を直撃している。会社も認識しているように、旅客の利用率は大幅に増加している。そして、何よりも、この間の社員の苦労によって積み上げられてきた多大な内部留保金もある。このような時だからこそ組合員、社員への期待も含めて年末手当を支給すべきである。

以上のことから、会社は真摯に現場社員の苦労に応え、下記の申し入れの通り、満額の回答をすること。

記

1. 年末手当は基準内賃金と補償措置額の 3 . 5 ヶ月分とし、プラス一人 1 5 万円（万博手当 5 万円含む）を支給すること。さらに、専任社員にはプラス 1 0 万円（万博手当 5 万円含む）を支給すること。
2. 組合員に対し、不当な年末手当のカットをやめること。
3. 回答は 1 1 月 5 日（水）までに行うこと。
4. 支払いは 1 2 月 1 日（月）までに行うこと。

以 上